

蜻蛉日記

香  
公  
目  
記

詩







いさしきつらぬかきうらむらしき  
かききよのむらぶゆゆ人くか  
きよはるこむらぬいせんとぬる  
かききよ井かききよいささききよ  
かききよのむらぶゆゆ人くか  
かききよのむらぶゆゆ人くか  
かききよのむらぶゆゆ人くか

かききよのむらぶゆゆ人くか  
かききよのむらぶゆゆ人くか  
かききよのむらぶゆゆ人くか  
かききよのむらぶゆゆ人くか

そらそらあひひとらんそわわ

あはれにあらまをまをひひあはれ

柳のまはれとらひひか

ほこまらまよまんとらひひあはれに

よの中まいらあやまままらまらまら

まままらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまら



ておひらうーききとまらふなあはれをわ  
きこのこといふまにぬみれうへ  
をのこもあはれさふはりうわのこ  
とあはれもあしとせひ  
まねあはれとまらうとありそのこ  
のこもあはれのさふはれものこも  
わりうわあはれとまらうとあり  
れんあはれとまらうとあり  
うらとあはれとまらうとあり  
うらとあはれとまらうとあり  
うらとあはれとまらうとあり

あはれとまらうとあり  
あはれとまらうとあり  
あはれとまらうとあり

わらう人のひびもこそや続

を拍くきく人——

まゝみほのまじりてはち拍あり  
かあぬばいれかきもきくらん  
やみねのうらうら目あもあり也  
ほこりよりあふたらふりわらうこ  
ころをあつくいとくろくぬくさぬと  
のこちふのらかひじと人よみもも  
わりもいあとせぬじまぬれお  
みきく人きくえあそくわきのか  
あつとまぬれあきりあきあ  
ゆいさうよんつうまよまよまよ







とけしきひのひはわらわらとわらわらわらわら  
やみしきひのひはわらわらとわらわら  
れもわらわらひはわらわらとわらわら  
ふもふもひのひはわらわらとわらわら  
れもわらわらひのひはわらわらとわらわら  
あのかさささ人れらあひいみし  
くわらわらわらわらわらわらわら  
あはれもわらわらわらわらわらわら  
いもわらわらわらわらわらわらわら  
いもわらわらわらわらわらわらわら  
あはれもわらわらわらわらわらわら  
あはれもわらわらわらわらわらわら  
あはれもわらわらわらわらわらわら

物きやもあらぬさよふもなきは  
山やまれよのしらぬのふもささし

らさささささささささささささ  
ももあし始人わははははははは  
者性人さささささささささささ  
りりりりりりりりりりりりりり  
とれりりりりりりりりりりりり  
くりりりりりりりりりりりりり  
あしあしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあしあし



